

# 琉球大学学術リポジトリ

米国管理下の南西諸島状況雑件 沖縄関係 要人往  
来総務長官等訪沖(1)

メタデータ	言語: 出版者: 公開日: 2019-01-22 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: - メールアドレス: 所属:
URL	<a href="http://hdl.handle.net/20.500.12000/43236">http://hdl.handle.net/20.500.12000/43236</a>

振  
統務副長官の訪問  
(比平副長官同行)

42  
1  
18  
5  
21

副官一行訪沖日程

(第1日) 1月18日(水)

9.30 東京国際空港発(日本航空721便)  
 12.40 那覇国際空港着(大阪経由)  
 12.40 - 55(15) 記者会見(空港貴賓室)  
 12.55 - 13.10(15) 空港発、南方連絡事務所着  
 13.10 - 25(15) 南達訪問  
 13.25 - 30(5) 整肢療護園着  
 13.30 - 45(15) 整肢療護園視察  
 13.45 - 50(5) 整肢療護園発、福祉病院着  
 13.50 - 14.05(15) 福祉病院視察  
 14.05 - 10(5) 福祉病院発、民政府着  
 14.10 - 25(15) 民政官訪問  
 14.25 - 35(10) 行政主席訪問  
 14.35 - 40(5) 行政府発、立法院着  
 14.40 - 50(10) 立法院議長訪問  
 14.50 - 55(5) 立法院発、上訴裁判所着  
 14.55 - 15.00(5) 首席判事訪問  
 15.00 - 18.00(3.00) 上訴院発、南部職跡巡拝、東急ホテル着  
 護国神社-バツクナー-中將碑-姫百合

総 理 府

の塔-健児の塔-島守の塔-黎明の塔  
 -中央納骨所

18.00 - 30(30) 休憩  
 18.30 - 20.00(1.30) 副官主催レセプション(東急ホテル)  
 20.00 - 22.00(2.00) 主席主催夕食会(東急ホテル)

(第2日) 1月19日(木)

8.20 - 9.00(40) ホテル発、軍司令部着  
 9.00 - 10.00(1.00) 高等弁務官訪問  
 10.00 - 11.45(1.45) 中部視察(基地周辺、中部病院)、フォー  
 -とバツクナーオフィサーズクラブ着  
 11.45 - 13.00(1.15) 弁務官主催昼食会  
 13.00 - 30(30) クラブ発、ヘリポート着  
 ヘリコプター塔乗、名護グラウンド着  
 13.30 - 15.00(1.30) 北部各界代表との懇談及び視察  
 15.00 - 16.40(1.40) 名護発(車) 那覇市役所着  
 16.40 - 55(15) 那覇市長訪問  
 16.55 - 17.00(5) 市役所発、青少年会館着  
 17.00 - 15(15) 青少年会館視察  
 17.15 - 25(10) 青少年会館発、遺族の家着  
 17.25 - 4(15) 遺族の家視察

総 理 府

17.40 - 18.00 (20) 遺族の家発、ホテル着  
18.00 - 50 (50) 休憩  
18.50 - 19.00 (10) ホテル発、「左馬」着  
19.00 - 20.30 (1.30) 南遊所長主催夕食会

(第3日) 1月20日(金)

8.00 - 9.00 (1.00) 沖縄経済界代表との懇談(ホテル 朝食  
会)

9.00 - 30 (30) 地元新聞記者との懇談(ホテル)

9.30 - 11.30 (2.00) 琉球政府主脳との懇談(ホテル)

11.30 - 45 (15) ホテル発、那覇空港着

12.00 - 13.45 (1.45) 那覇空港発、石垣空港着

13.45 - 14.05 (20) 石垣空港発、八重山観光ホテル着

14.05 - 15.00 (55) 昼食、休憩

15.00 - 17.00 (2.00) 石垣島視察、ホテル着

17.00 - 18.00 (1.00) 休憩

18.00 - 20.00 (2.00) 各界代表主催夕食会

(第4日) 1月21日(土)

9.00 - 10.30 (1.30) 各種団体代表との懇談

10.30 - 11.00 (30) 休憩

総 理 府

11.00 - 10 (10) ホテル発、石垣空港着

11.35 - 12.10 (35) 石垣空港発、宮古空港着

12.10 - 30 (20) 宮古空港発、宮古地方庁着

12.30 - 13.30 (1.00) 昼食、休憩(地方庁)

13.30 - 16.30 (3.00) 宮古島視察、宮古空港着

16.40 - 17.50 (1.10) 宮古空港発、那覇空港着

18.00 - 20 (20) 記者会見(空港貴賓室)

18.30 那覇国際空港発(ノース8便)

20.30 東京国際空港着

総 理 府

北米課長

極

領事館より事務次官あて送付文書の #2.1.18

アンガー高等弁務官・堀総務副長官・会談要旨

(1967. 1. 19)

1. アンガー高等弁務官は、着任早々から沖縄施政上の諸問題について、積極的な努力をしておられることに対し、私は衷心からお礼を申し上げたい。

とくに、琉球民裁判所制の改革、新たな民法による布告、布令の廃止等の方針は、日本政府としても高く評価しており、今後の改革に非常な期待をよせていることを申し上げたい。

2. 1968会計年度の日本政府の対沖縄援助費について

1968会計年度の日本政府の対沖縄援助費については、昨年10月米側から日米協議委員会において提案されたところであるが、その後日本政府部内において関係閣僚等による協議が行われ、103億円(約2870万ドル)の総額において米案を受諾することとするが、援助費の項目、金額並びに予算の計上方法等については大蔵省と総理府の間で協議したうえで日本政府の意見として計画を提示することとなった。総理府と大蔵省との協議は去る16日に略々完了したので、その結果を17日に米国大使館に非公式に伝達した次第である。また、同様な内容を山野特達局長から米国民政府予算当局にも昨日説明したところである。

総 理 府

私としては、日本の総選挙後新しい内閣が出来たのち、できるだけ速かに日米協議委員会で合意をみることを期待している。

なお、明年度の日本の対沖縄援助費は、大巾に増額されたことに関連して、日本政府は米国側におかれても、現行プライス法の沖縄援助費の限度額を大巾に引き上げられるよう強く望んでいることをお伝えしたい。

3. 次に、去る10月の日米協議委員会にも日本側から提案した琉球船舶に何等かの形で日の丸の旗が併揚できるようにしてもらいたいとの日本政府の強い希望の実現について、私はアンガー高等弁務官の格別の理解と協力をお願いしたい。

また、先島定期航空への日本航空の乗り入れ問題について、その後の情勢をお聞かせ願えれば幸である。そして、日本政府としては日本航空の乗り入れ実現について強い関心をもっていることを申し上げたい。

4. 最近、米国軍人(一部には地元民によるものもある)による傷害事件等が頻発しているようにきいておる。この事件の発生防止については、高等弁務官も常時苦心されていることは了解できるが、このような不祥事件の頻発はややもすると一部反米分子に利用され、一般的に沖縄住民の人権が不当に無視されているとの誤解を与える恐れもあるので、事件の発生防止にさらに一段と努力をしてほしい。

総 理 府

5. 最後に、そして最も重要な問題であります。私はこの機会に、日本政府及び沖縄住民を含む日本国民は、沖縄の本土復帰が一日も早く実現するようとの悲願をもち続けてきていることを卒直に高等弁務官にお伝えしておきたいと存じます。

裁  
無期限

タイプ指示	発信用	執務用	計
主信		2	3
付	2部YH係		
属	条件		

発送日 昭和42年2月27日  
 発信タイプ

文書課 (印) 公信案 (分類)

公信番号 米北 第 66 号 公信日付 昭和42年2月18日  
 起案 昭和42年1月31日

大 臣 政務次官 事務次官 外務審議官 官 房 長	主 管 北米局長 参事官 北米課長 主任	起案者 寿山 電話番号 671
---------------------------------------	----------------------------------	-----------------

受信者 総理府 特別地域連絡局長	発信者 外務省 北米局長
------------------------	--------------------

写送付先 (希望発送日) 月 日

件 名  
 振 総務副長官とP/G-高岩弁務官の会議要旨

会議要旨なし

米北第66号  
 昭和42年2月 1日

総理府特別地域連絡局長殿

外務省 北米局長

振 総務副長官、P/G-高岩弁務官会議録  
 の送付について

1月19日 沖縄へ向けた振 総務副長官とP/G-高岩弁務官との会議について、貴方で作成した同会議の要旨記録、別添所添付にて送付いたします。

なお、同記録の余部(同封)は北米課 菊池事務所に送付いたします。